

平成 22 年度事業計画書（案）

平成 22 年 7 月 1 日から平成 23 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター

1. 事業実施の方針

福祉ツーリズムは活動開始から 3 年を過ぎ行政・施設との連携システムが構築していた。平成 22 年度は視察の有料化に目処をつけ事業化することを目指す。

また、アジアプラットフォーム構想の具現化に向けて、10 月には 200 名強の参加者となるアジア太平洋アクティブエイジング会議の開催など、国内外にアクティブエイジングの概念を広く発信することで、活動を財政的に支援してくれる賛同者層を広げ、安定的な財政基盤の確立をはかる。

2. 事業の実施に関する事項

(ア) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人員	支出 見込 み額
福岡エイジングコーディネート事業	福岡市協働提案事業。海外より福岡市内の福祉施設の視察・研修要望に応じ調整する事業。通訳ボランティアに対する福祉知識取得講座、中国語によるパンフレット作成等を併せて実施。	通年 (随時)	福岡市内 各地	5 人	2,700
生涯すこやか街づくり協議会事務局事業	福岡市アイランドシティに年齢を重ねても生きがいを感じ社会参加のできる街をつくることを目的とした産学官による協議会を設置。その事務局としてつなぎ役を担う。	通年 (年 2 回)	福岡市役 所内及び 法人事務 所	5 人	1,500
アジア太平洋アクティブエイジング会議 2010 事務局	環太平洋を中心にエイジングの研究者が一同に介し高齢社会のあり方について意見交換をおこなう国際会議。基調講演やシンポジウム、ワークショップ、ポスターセッションから構成される。(笹川平和財団助成事業(一部))	10 月	福岡大学	10 人	10,000
エイジングシンポジウム	健康、安全、介護等をテーマに中国・韓国の研究者を招聘し国際シンポジウムを開催する。(笹川平和財団助成事業)	1 月	東京都内	8 人	5,000

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人員	支出 見込 み額
疾病管理普及事業	総務省平成 22 年度情報通信技術地域人材育成・活用事業。コメディカル人材を掘り起こし ICT を活用して疾病管理業務（特に糖尿病）に取り組み雇用創出を目指す。事務局はカルナヘルスサポート	通年	福岡市内 各地	2 人	100,000
福岡・釜山健康づくり交流事業実行委員会事務局	福岡・釜山両市民の代表者が共通の検査項目を設けウォーキング・体操など健康づくりに取り組みその成果を競い合いながら交流を図る。事務局を担当する。	通年	福岡市 釜山市	4 名	2,000
広報・啓発事業①	ホームページ開設による情報発信、ボランティア及び賛助会員の募集。通信発行による活動報告・情報発信	通年 (随時)	法人事務 所	10 人	1,200
広報・啓発事業②	講演・啓発活動	2 月 (予定)	福岡市内	3 人	500

以上